

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- 図形に関わる数学的活動を通して、三角形・四角形について、図形を構成する辺や頂点の数に着目し、図形を分別することができる。〔知識及び技能〕
- 図形に関わる数学的指導を通して、図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、身の回りのものの形を図形として捉えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- 図形に関わる数学的指導を通して、三角形や四角形を分別しようと粘り強く考え、友だちと考えを伝え合い、図形よさに気づいて身近な生活の中で生かそうとしている。〔学びに向かう力・人間性等〕

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・読み聞かせ等を通じて、読書を楽しむ。
- ・知識(調べたこと)と体験をつなげられる。

指導観

本単元では、三角形や四角形を見分ける力を育てるとともに、言語能力や情報活用能力をともにはぐくむことをめざした指導を行う。導入では絵本を題材に、登場人物や物を三角や四角で囲む活動を通して形に親しみをもたせる。また、Google Classroom を活用し、1時間の学習の流れを見てノートにまとめ、スプレッドシートには、学習のまとめとして、掲示したルーブリックをもとに自分の学びを自己評価し、A または B を選択し振り返りを記入することで、主体的に学びを進める力を養う。さらに、友だちとの交流を通して、自分の考えを言葉や図で表現する力も高める。第1時では、身近な場所や学校図書館の本から三角形や四角形を探し、整理し表現する。最後に、振り返り活動を通して、自分の学びを言語化し、今後の学習につなげていく。

単元の評価規準

- 三角形や四角形について、辺や頂点の数に着目して仲間分けをして、正方形・長方形・直角三角形の性質を理解して認識している。〔知識・技能〕 B(1)ア
- 三角形や四角形を分類するとき、辺の数や直線で囲まれていることに着目して理由を説明し、身近なものから見つけた形を整理・表現している。〔思考・判断・表現〕 B(1)ウ
- 図形を見分ける活動に意欲的に取り組み、友だちの考えを聞いて自分の考えを比べたり修正したりしている。〔主体的に学習に取り組む態度〕

単元における学習の展開 (全9時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

次	時	学習内容	主な評価規準〔観点〕
第1次 (1時間)	第1時	・絵本を使用して点をつなぐ形づくりによる学習の動機づけ☆ ・三角形の定義・点構成・線構成、四角形の定義・点構成・線構成《三角形・四角形》	・直線の数を見て形の違いに気づいている。〔知・技〕
第2次 (2時間)	第2時	・三角形、四角形の弁別《辺・頂点》(本時)	・図形の形や直線の数などを手がかりに、三角形と四角形のちがいや特徴を見つけ、自分の言葉で伝えている。〔思・判・表〕 ・三角形や四角形の辺と頂点の数を理解している。〔知・技〕
	第3時	・三角形、四角形の面構成(三角形や四角形の紙を切る) ・算数探しの活動(身のまわりの三角形や四角形)	・仲間分けの根拠を言葉や図で表している。〔思・判・表〕 ・身のまわりから三角形や四角形を進んで見つけ、友だちと伝え合おうとしている。〔主体〕
第3次 (5時間)	第4時	・直角づくりとその定義《直角》 ・算数探しの活動(身のまわりの直角)	・直角を認識し、形の中で見つけている。〔知・技〕 ・身の周りのものから直角を見つけ、

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

C-STEP 1, D-STEP 1

F-STEP 1, G-STEP 1

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



			自分で確かめようとしている。〔主体〕
	第5時	・長方形づくりとその定義や性質<<長方形>>	・長方形が4つの直角をもつ四角形であることを理解して認識している。〔知・技〕
	第6時	・正方形づくりとその定義や性質<<正方形>> ・算数探しの活動(身のまわりの長方形や正方形)	・正方形が4辺の長さが等しく、4つの直角をもつ形であることを理解して認識している。〔知・技〕
	第7時	・直角三角形づくりとその定義<<直角三角形>>	・直角三角形が直角を1つもつ三角形であることを理解して認識している。〔知・技〕
	第8時	・方眼紙を使った作図 ・長方形、正方形、直角三角形の敷き詰め	・形の構成の仕方を考え、作図や敷き詰め方を工夫している。〔思・判・表〕 ・学んだ形を使って、模様を工夫して作ろうとしている。〔主体〕
第4次 (1時間)	第9時	・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう	・学習のまとめを言葉で説明している。〔思・判・表〕

本時の目標

- 図形を構成する要素(直線の数、直線で囲まれていることなど)をもとに、三角形と四角形のちがいや特徴を考え、その理由を言葉で説明することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- 三角形と四角形の辺と頂点の数を理解することができる。〔知識及び技能〕

本時の評価規準

- 図形の形や直線の数などを手がかりに、三角形と四角形のちがいや特徴を見つけ、自分の言葉で伝えている。〔思考・判断・表現〕
- 三角形や四角形の辺と頂点の数を理解している。〔知識・技能〕

本時の評価基準

評価 A (十分満足できる)	評価 B (満足できる)	評価 B に達していない子どもへの支援
・図形の形や直線の数などを手がかりに、三角形と四角形のちがいをいくつも見つけ、自分の言葉で伝えている。〔思・判・表〕	・図形の形や直線の数などを手がかりに、三角形と四角形のちがいや特徴を見つけ、自分の言葉で伝えている。〔思・判・表〕	・図形の形や直線の数などに気付けるように、実物の図形や具体物を提示しながら一緒に確認する。三角形や四角形を指でなぞったり、辺の数を数えたりする活動を通して、図形の構成要素に注目できるように支援する。
・三角形や四角形の辺と頂点の数を正しく理解している。〔知・技〕	・三角形や四角形の辺と頂点の数を理解している。〔知・技〕	・頂点を赤、辺を青で色分けしながら、一緒に数え、図形の構成要素に気付けるように支援する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	予想される子どもの反応	●指導上の留意点・学校図書館活用及び言語能力の育成のポイント ◎評価規準 (評価方法)
導入 (10分)	1.前時の復習 ・三角形と四角形の見分け方を思い出す。 2.問題・ループリック提示(スプレッドシート入力) ・三角形や四角形をみつけましょう。	・3本の直線にかこまれている形は三角形 ・4本の直線にかこまれている形は四角形 ・三角形…あ・お ・四角形…い・う・か ・わからない…え・き・く	◎ループリック A:三角形や四角形のちがいをたくさん見つけて、自分の言葉で言う。 B:三角形と四角形のちがいを見つけて、自分の言葉で言う。 支援…図形の形や直線の数などに気付けるように、実物の図形や具体物を提

			示しながら一緒に確認する。 三角形や四角形を指でなぞったり、辺の数を数えたりする活動を通して、図形の構成要素に注目できるように支援する。
展開 (30分)	3. 個人思考(ノート記入) 「三角形や四角形といえるわけをせつ明しよう」 ・キーワード「直線の数」「直線で囲まれている」	・三角形は、3本の直線で囲まれている。 ・四角形は、4本の直線で囲まれている。 ・え・き・くは、直線でない線や直線で囲まれていないから違う	◎図形の形や直線の数などを手がかりに、三角形と四角形のちがいを見つけ、自分の言葉で伝えている。 〔思・判・表〕(ノート・話し合い)
	4. グループで話し合う。 5. 全体発表 6. 辺と頂点を学ぶ。 7. 個人思考 ・2の問題を辺と頂点に色をつけていくつあるか考える。	・あ・おの三角形は、辺が3つと頂点が3つ ・い・う・かの四角形は、辺が4つと頂点が4つ ・え・き・くは、直線ではないから辺ではない また、辺と辺が離れているから頂点がない	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 話し合い活動では、図形を構成する要素を取り入れて、グループで話し合う。(ノートを見せながら説明してもよい。) </div> ◎三角形や四角形の辺と頂点の数を理解している。〔知・技〕(ノート) 支援…頂点を赤、辺を青で色分けしながら、一緒に数え、図形の構成要素に気付けるように声かけを行う。
まとめ (5分)	8. 振り返りをする。 (スプレッドシート入力)		●三角形・四角形を構成する要素について、振り返っている児童がいれば、紹介する。

ご講評欄